

第十四回 比田井天来・小琴顕彰

佐久全国臨書展

～ 募集要項 ～



◇ 佐久全国臨書展 概要 ◇ ～「現代の書」を原点から問い直す臨書展～

書家 比田井天来は、「書とは、先生の手本ではなく古典を直接学ぶことである」と主張しました。これを「臨書」と言います。

——「わたしは、小学校に入学したころから、法帖および碑版から書を習っていた。法帖や碑版は、決して書学者の近寄れないような難しいものではないのである。初学の際に悪い手本を習うと、その悪い癖を改めるのに大いに骨が折られるため、初めから最上の手本について学ぶことが最も肝要である。」（比田井天来）——

天来は、臨書を基盤として学書の体系を作りました。そこで、天来のふるさと佐久市において、天来の推奨した学書の体系により、「現代の書」を原点から問い直そうとするのがこの臨書展です。

また、本臨書展は会派を越えた審査員による審査が行われ、それぞれの審査員賞があることも特徴です。小学生以上の方はどなたでも応募することができます。古典と向き合い生き生きと表現された作品をお待ちしています。

〈作品締切〉 令和7年9月3日（水）【必着】

〈会 期〉 令和7年11月22日（土）～12月14日（日）

〈展示会場〉 佐久市立近代美術館／長野県佐久市猿久保35-5（駒場公園内）

・開館時間：午前9時30分～午後5時（入場料 無料）

・休館日：11/25（火）・12/1（月）・4（木）・8（月）

〈授 賞 式〉 令和7年11月22日（土）

特別賞・特選受賞者が出席（佐久地区は秀作以上の受賞者）

・会 場：佐久創造館／長野県佐久市猿久保55（駒場公園内）

〈特別企画〉 ○企画展～審査員臨書作品の展示～／臨書展と同時開催

○ワークショップ 12月6日（土） 講師：仲川恭司（臨書展審査員長）

～ 審 査 員 ～

審査員長 仲川恭司（独立書人団会長）

副審査員長 石飛博光（創玄書道会名誉会長）

比田井和子（天来の会）

当番審査員 旭谷朗抱（玄潮会常任顧問）

下谷洋子（書道芸術院理事長）

辻元大雲（書道芸術院顧問）

吉田菁風（全日本書芸文化院代表）

高橋蒼石（書宗院理事長）

加藤春暉（長野県書道展審査会員）

高木厚人（大東文化大学名誉教授）

室井玄聳（創玄書道会会長）

審 査 員	赤平泰処（貞香会会長）	有岡郊崖（読売書法会常任理事）
	市澤静山（信州大学名誉教授）	梶田越舟（書宗院評議員）
	川村龍洲（長野県書道展運営委員長）	友野浅峰（毎日書道展審査会員）
	中原志軒（奎星会会長）	名児耶明（筆の里工房副館長）
	船本芳雲（書燈社顧問）	堀桂葉（日本書道専門学校教授）
	松井玉箏（日本書道美術院常務理事）	宮負丁香（書星会理事長）
	山中翠谷（独立書人団理事長）	渡部會山（創玄書道会常務理事）
小中学生部 一次審査員	内田藍亭（書宗院運営理事）	金子大蔵（創玄書道会評議員）
	松尾治（独立書人団理事）	柳杏秋（全書芸運営総務）

- ～ 主 催 ～ 佐久市／佐久市教育委員会／佐久全国臨書展実行委員会
- ～ 共 催 ～ 佐久市書道連盟／天来の会／NPO法人未来工房もちづき
- ～ 後 援 ～ 信濃毎日新聞社／公益財団法人八十二文化財団／株式会社天来書院／
株式会社二玄社／有限会社書藝文化新社／株式会社芸術新聞社／
株式会社美術新聞社／株式会社美術年鑑社／株式会社匠出版
- ～ 協 賛 ～ 株式会社一休園／株式会社玉川堂／株式会社慶花堂／
守玄齋・ゴールデン文具株式会社／有限会社誠心堂書店／清秘蔵／
株式会社ならや本舗／宝研堂／筆匠株式会社仿古堂／株式会社墨運堂／
有限会社みなせ筆本舗／山口文林堂

◇ 募集部門 ◇

一般部〔漢字・かな〕、高校生部〔漢字・かな〕、小中学生部〔漢字〕

◇ 出品方法 ◇

書作品と以下の①～④の必要書類を添えて、天来記念館へ持参または郵送する。
なお、提出書類に不備がある場合は受付できないため、募集要項に記載の規定や注意
事項を遵守し提出すること。

- ①応募作品 ②出品票（作品の左下に貼付） ③出品票の本部控え
④出品料の振込明細書のコピー（出品票本部控えの裏に貼付）
⑤出品時最終チェックシート（応募点数を記入）

◇ 応募書類の入手方法 ◇

佐久市ホームページ内、天来記念館のページ
（<https://www.city.saku.nagano.jp/shisetsu/sakubun/tenraikinenkan/>）より
ダウンロードできるほか、事務局よりFAXまたは郵送で送付可能。

《応募・問合せ先》

佐久市立天来記念館内「比田井天来・小琴顕彰 佐久全国臨書展実行委員会事務局」
〒384-2202 長野県佐久市望月305-2 TEL/FAX 0267-53-4158

1 作品規定

※規定を超えたサイズの場合、表装時に裁断されることがある。また、サイズが大きく違う場合は規定外として審査対象外となる。

	種類	寸法(縦×横cm)	出品可能部門
漢字	全紙	135×70	一般部・高校生部
	半切	135×35	一般部・高校生部
	半紙	35×25	小中学生部

	種類	寸法(縦×横cm)	出品可能部門
かな	胴切	78×70	一般部・高校生部
	全懐紙	36.5×50	
	半懐紙	36.5×25	
	半切	135×35	

〈共通事項〉

- ① 作品は未発表のもので、1人1点とする。□
- ② 応募作品は表装せずまくりのまま、左下に出品票を貼り付けて出品する。□
- ③ 誤字脱字は認められない。また、原本が文章として成立しているにもかかわらず、主語述語を省くなど文章として不完全な部分を臨書したものは減点対象となる。□
- ④ 推奨古典碑法帖については佐久市ホームページを閲覧すること。

文章の後ろの四角にチェックを入れて確認

〈漢字作品〉

- ① 出典は、中国は唐以前、日本は平安時代以前の古典として広く承認されているものに限る（推奨古典碑法帖 参照）。□
- ② 漢字作品は、用紙を縦方向に使用する。□
- ③ 出品票に記載する臨書原本名の表記の仕方は、以下のとおりとする。□
 - ・法帖名だけでなく書者がわかるものは書者名も書く。(例) 楽毅論→王羲之楽毅論
 - ・造像記や墓誌銘は名前も書く。(例) 造像記・龍門造像記→牛橛造像記
 - ・金文や木簡は詳細な情報を加えることが望ましい。手本の書籍名とその掲載ページも記入。(例) 大孟鼎・居延出土木簡



推奨古典碑法帖についてはこちらで確認できます

〈かな作品〉

- ① 出典は、平安古筆（三筆三蹟を含む）の古典として広く承認されているものに限る（推奨古典碑法帖参照）。□
- ② かなの臨書は、文字数は自由で原寸臨および拡大臨も可とする。□
- ③ かな半切作品は、縦横を問わない。縦作品は軸、横作品は卷子の仕上がりとなる。□
- ④ かなの胴切での出品は2段まで、はりまぜは7枚以内とする。半切にはりまぜで出品する場合も7枚以内とする。□
- ⑤ 「原寸臨書の貼り方例」を参考に、必ず台紙に貼り出品する。□
(貼り方例はホームページからダウンロードできるほか、事務局よりFAXまたは郵送で送付可能。)

〈高校生部について〉

- ・出品に際しては、上記漢字作品・かな作品の規定のとおりに行う。
- 高校生部は展示会後、着払いにて作品を返送する。□

〈小中学生部について〉

- ・出品に際しては、上記漢字作品の規定のとおりに行う。
- ・作品に学校の区分（小学校か中学校か）、学年、氏名を表記する。□
(例) 小三 佐久一郎、中二 佐久花子

2 その他の出品規定

〈出品票について〉

- ① 出品票は、名簿の作成や出品者への諸連絡に使用するため、正確に楷書で書く。□
- ② 出品票の審査結果・作品返送先情報の欄は、記入漏れや間違いのないよう正確に記入する。□
- ③ 出品票の本部控えは、裏に振込明細書（振替払込請求書兼領収書）のコピーを貼付して、作品と一緒に提出する。□

④ 出品票は規定のものを使用する。(個人で印刷も可。ただし、インクジェットプリンタ等で印刷したものを
使用した場合、裏打ち等の作業時に作品にインクの滲み等が出る場合があるため留意すること。) □

＜出品料について＞

- ① 出品料は、令和7年9月3日（水）までに“郵便振替”で送金する。誰の出品料が分かるよう必ず
出品者名を全員分記載する。□
なお、前年度出品料・表装料未納者の受付は行わない。
また、入金誤り等で返金があった場合は、返金手数料を差し引いて返金する。
- ② 出品時に、振込明細書（振替払込請求書兼領収書）のコピーを出品票の本部控えの裏に貼付する。□

～出品料・振込先～

一般部 6,000 円／人、高校生部 1,000 円／人、小中学生部 無料

【郵便振替 00580-0-20841 加入者名 天来記念館】

※一般部は作品返送料も含む。高校生部は返送料を個人負担で着払いとする。

＜成績発表について＞

・審査結果及び展示期間、授賞式等の詳しい内容は、10月下旬頃に本人または出品責任者宛てに送付
する。また、天来記念館のホームページにも掲載する。 □

＜賞区分一覧＞

		一般部漢字	一般部かな	高校生部	小中学生部
入賞	特別賞	天来賞	小琴賞	天来賞（漢字作品）・小琴賞（かな作品）	天来賞
		佐久市長賞	佐久市長賞	佐久市長賞	佐久市長賞
		佐久市教育長賞	佐久市教育長賞	佐久市教育長賞	佐久市教育長賞
		佐久市書道連盟賞	佐久市書道連盟賞	佐久市書道連盟賞	佐久市書道連盟賞
		審査員賞	審査員賞	審査員賞	
		特選・秀作・佳作	特選・秀作・佳作	特選・秀作・佳作	特選・金賞・銀賞・銅賞
入選		入選			

＜作品展示と図録への掲載＞

- ① 作品の展示期間は、審査結果と一緒に通知する。□
- ② 一般部・高校生部は、表装・裏打ちした入賞作品を展示。特別賞は常設、その他の佳作以上の作品
は1回展示替えを行う。□
- ③ 小中学生部は、まくりのままピーポートに入れ入賞・入選作品を展示。特別賞は常設、その他の作品
は3回展示替えを行う。□
- ④ 図録には、一般部の入賞・入選作品と高校生部の入賞以上、小中学生部の特別賞作品を掲載する。□
- ⑤ 図録に作品が掲載された出品者には、作品返送時に同封し図録を贈呈する。□

＜表装料について＞

		一般部		高校生部	
漢字	全紙	軸	5,000 円	裏打ち	1,500 円
	半切	軸	3,300 円	裏打ち	1,000 円

		一般部		高校生部	
かな	胴切	軸	5,000 円	裏打ち	1,500 円
	半切	軸・卷子	3,500 円	裏打ち	1,000 円
	全・半懐紙	軸・卷子	3,300 円	裏打ち	1,000 円

※一般部は軸で表装、高校生部は裏打ちをする。

・審査の結果、展示通知のあった一般部・高校生部の出品者は、表装料を令和7年11月14日（金）ま
でに郵便振込用紙で送金する。誰の表装料が分かるよう必ず出品者名を全員分記載する。□
なお、課題違いや入金誤り等で返金があった場合は、返金手数料を差し引いて返金する。

＜作品返送について＞

- ① 作品は、2月上旬頃に準備ができたところから順次返送を行う。その際に賞状も同封する。□
- ② 小中学生部は個々への返送ではなく、出品責任者へまとめて返送する。□
- ③ 高校生部は、出品票に記載の返送先住所へ着払いで返送する。□